

令和6年度  
**事業計画**

社会福祉法人遠野市社会福祉協議会

# 令和6年度事業計画

## I 令和5年度の取組の概要

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類変更されたことにもない、約4年間休止または縮小していた事業等について、感染対策を行ったうえで、通常開催、実施できるよう所要の事業に取り組みました。

### 1 法人全体「たすけあい、ささえあう、福祉でとおのづくり」の推進

- (1) オール社協による連携・協働による地域福祉の推進
- (2) 地域福祉活動計画・中期経営計画の中間年としての検証

### 2 総務企画

- (1) 第3回ふれあい福祉のつどいの開催
- (2) 社会福祉法人等連絡会による連携・協働による事業開発
- (3) 理事監事の改選

### 3 地域福祉

- (1) 個別支援から地域福祉活動への支援、多分野・異業種との協働による地域づくりの推進
- (2) 地域福祉活動計画2021（R3～R7）の推進と進行管理

### 4 在宅福祉

- (1) 介護保険事業システムの見直し（すこやかサン⇒ほのぼの）による介護事業所の生産性向上と業務の効率化
- (2) 配置基準に基づく事業所運営の見直し
- (3) 令和6年度介護報酬改定に向けた体制整備
- (4) 感染症対策の継続的な取り組み

## II 令和6年度事業の基本方針

新型コロナウイルス感染症がまだまだ生活に影響を与えている中、多様化する生活課題を抱える住民に寄り添うため、「地域福祉活動計画2021」「中期経営計画2021」に掲げる目標の達成に向けて「たすけあい ささえあう 福祉でとおのづくり」を基本理念のもと、所要の事業を推進します。

併せて、持続可能な経営基盤を確立するため、生産性の向上と業務の効率化を目指し、引き続き「社協DX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進します。

### 1 法人全体「たすけあい、ささえあう、福祉でとおのづくり」の推進

〔推進項目〕

- (1) オール社協による連携・協働による地域福祉の推進
- (2) 遠野市まちおこしセンターの指定管理

## 2 総務企画

### 〔推進項目〕

- (1) 勤怠管理システムの導入
- (2) 働き方改革の推進と処遇の改善
- (3) 第10回遠野市社会福祉大会の開催（隔年開催）

## 3 地域福祉

### 〔推進項目〕

- (1) 地域福祉活動計画2021（R3～R7）の推進と進行管理
- (2) 新たな拠点によるちょボラの市民交流サロンちょボラ、遠野市地域活動支援センター、遠野市ボランティア活動センターの事業推進
- (3) 重層的支援体制整備事業宮守地区の受託

## 4 在宅福祉

### 〔推進項目〕

- (1) 令和6年度介護報酬改定に伴う適切な対応
- (2) 介護保険事業システムの有効活用による介護事業所の生産性向上と業務の効率化
- (3) 感染症・災害事業継続計画（BCP）に基づく事業運営

### Ⅲ 令和6年度事業

#### 法人運営

1 法人運営部門としての総務企画課 適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務、人事管理をはじめ、組織全体に関わる企画調整を行います。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
<b>(1) 組織運営</b>			
法人運営	① 組織体制 法人全体の運営を3課1福祉センター10事業所とする ② 財務運営、管理 ア 月次単位及び四半期毎の経営状況の分析及び予算管理 ③ 組織・事業運営の適正化 ア 法人の公益性の徹底 イ 経営情報の適切な開示 ウ ガバナンスの強化 ④ 適切な人事管理 ア 計画的な職員採用、異動 ⑤ システムの包括的な連動構築の検討継続 ア 勤怠システムの導入 イ 各システム(勤怠・人事・給与・財務会計)の連動を模索 ⑥ 雇用、処遇の改善 ア 最低賃金法の改正に伴う給料表の見直し検討 イ 定年延長の検討 ウ 外国人実習生受入れの検討	通年	
<b>(2) 会議及び研修等の開催</b>			
会議の運営	① 会長事務局会議 ② 三役管理職会議 ③ 理事会 ④ 評議員会 ⑤ 監査	月1回 月1回 年4回 年4回 年4回	・情報共有 ・課題の共有と解決策の提案、決定 ・組織の方針、方向性確認 ・組織運営状況の評価
各種委員会の開催	① 経営・資金管理委員 ② 福祉の森管理委員会 ③ ボランティア活動センター運営委員会 ④ 生活福祉資金貸付調査委員会 ⑤ たすけあい更生資金貸付運営委員会 ⑥ 心配ごと相談所運営委員会 ⑦ 成年後見制度法人後見事業運営委員会 ⑧ 評議員選任・解任委員会 ⑨ 役員推薦委員会	年2回 随時 年1回 随時 随時 年2回 随時 随時 随時	

<b>(3) 役職員研修会の開催</b>			
役職員研修の開催	① 県社協主催のセミナー等参加 ② 新任役員研修の実施		
<b>(4) 各種計画の進行管理</b>			
各種計画の推進	① 地域福祉活動計画 2021 進行管理 令和3年4月1日から(5か年)	通年	ア 地域福祉計画と連携 イ 計画の進行管理
	② 中期経営計画 2021 進行管理 令和3年4月1日から(5か年)	通年	ア 進行管理と実績の分析
<b>(5) 総合福祉センターの管理運営</b>			
管理運営	① 遠野市補助金による管理運営		【予算】 <u>10,974 千円</u>
<b>(6) 関係機関及び福祉団体等との連携</b>			
社協支部等及びふるさとづくり市民会議、地区センターとの連携	① 社協会費、共同募金事業への協力 ② 支部長等会議の開催 ③ 社協支部等の運営費、地域福祉活動費の助成 ④ 地域福祉懇談会及び地域福祉推進研修会の実施	① 会費 6 月、共同募金 10 月・12 月 ② 年 2 回 ③ 通年 ④ 随時	【支部助成予算】 <u>3,860 千円</u> 【一人暮らし高齢者交流事業予算】 <u>650 千円</u>
福祉基金運用益による福祉活動の助成	① 福祉基金設置運営規則第7条に基づく助成と継続事業の充実	通年	【予算】 <u>6,427 千円</u> ア 継続事業 (ア) 社協事業 (イ) 民間福祉団体助成
遠野市社会福祉法人等連絡会	① 法人等連絡会の事務局機能 ② 市民向け出前講座の浸透と活動支援 ③ 実習生の受入指導にかかる法人間の連携	通年	・代表者会議 年 1 回 ・幹事会 適宜
福祉バザーへの協力	① 実行委員会で開催 ② 市民からの寄附物品を販売し、益金は福祉団体等の活動財源及び「共同募金」への寄附となる。 ③ 市民の福祉に対する関心や理解を深め、地域での「新たな支え合い」を推進するため、関係団体や中高生と連携して開催する。 ④ 更なる集客を見越し、福祉団体以外の参入も含めた新たなバザー形態の検討及び実施	9 月 10 月	【予算】 <u>200 千円</u>  遠野地区・宮守地区それぞれの開催 ・関係機関と連携 ・中高生との連携 ・躍進みやもりまつりとの連携(宮守会場)

(7) 社会福祉大会の開催			
第10回遠野市社会福祉大会	① 実行委員会で開催 ② 本市の社会福祉の増進に貢献された方々に敬意を表するとともに、社会福祉の一層の充実と発展を目指すことを目的に開催。	11月	【予算】 <u>1,104千円</u> ・表彰式 ・市民向け講演会
(8) 人材確保と育成・支援			
人材確保対策	① 外国人実習生受入れ検討 ② 各種学校との情報交換 ③ 就職ガイダンスへの参加 ④ 情報発信 (HP・福祉だより等) ⑤ 遠野市社会福祉法人等連絡会での連携協働	通年	
処遇改善と定着	① 最低賃金法の動向を踏まえた給料表の見直し検討 ② 処遇改善対象外職員の賃金差縮小 ③ 定年延長について検討	通年	
職員研修の充実	① 職員研修の実施による資質向上 ・職種別専門研修 ・職務別の組織内研修 ・衛生管理 (メンタルヘルス等) 研修 ・各BCPや虐待防止等の法的義務研修の実施 ② 資格取得の奨励、支援 ・各種資格取得のフォローアップ ・受験対策支援	通年	【予算】 <u>100千円</u>
奨学金返済助成事業	① 新卒者雇用促進、現職員離職防止 ・助成率 1/2 (年間総返済額) ・助成上限 96,000円/人 ※遠野市奨学金返済支援制度 (144,000円) の2/3の額。 ・助成期間 最大5年	5月支給	【予算】 <u>649千円</u>

## 地域福祉

1 相談支援体制の充実 「困りごと・悩みごと」を住民の身近な地域で、世代や属性を問わず丸ごと受け止め、つながり続ける支援体制を構築します。			
(1) 途切れることのない相談・支援体制の構築 令和6年度より新たに宮守地区を受任 (ともり会との連携) し、市内9地区 (松崎地区は敬和会が担当) へ「丸ごと相談員」を配置。身近な相談窓口として市民の困りごとに対応します。制度の狭間をつなぎ、途切れることのない相談・支援体制の構築を更に強化します。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
相談支援関係	複雑化、複合化した個人・世帯を置き去りにせず、必要な支援を届けるために相談員各々のアセスメント力や気づきの視点等のスキルアップを目的に生活支援チーム内での事例検討 (内部研修) を実施する。	通年	

	<p>① 社協内の相談支援体制整備と相談職員の育成</p> <p>② 課題解決に向けた関係機関、地域住民との連携強化</p>		<p>生活支援チームの設置 定例会 月1回 内部研修会の実施 ・事例検討会 年4回</p>
我が事・丸ごと地域づくり推進事業	<p>(遠野市受託事業) 多機関協働事業</p> <p>① 包括化推進員1名を健康福祉の里に配置</p> <p>② 複雑化・複合化した様々な課題解決の支援のため以下を実施</p> <p>ア 本人等に対する支援の実施</p> <p>イ 重層的支援会議の開催</p> <p>ウ 遠野市支援会議への協力</p> <p>エ 支援関係機関・包括的相談支援事業所との連携</p> <p>オ 丸ごと相談員に対する支援</p> <p>カ 研修会実施・有識者等との連携</p>	通年	<p>【予算】総額 46,830 千円</p> <p>ア 相談対応 随時 (ア) 包括的相談支援事業者からの相談 (イ) その他支援機関からの相談 (ウ) チーム会議の開催 (エ) 多機関協働事業プランの立案、評価、終結・継続の検討</p> <p>イ 重層的支援会議 月1回</p> <p>ウ 遠野市支援会議への協力 随時</p> <p>エ 各種会議・研修会への参加 随時</p> <p>オ (ア) 定例会議 月1回 (イ) 事例検討会 年4回 カ 研修会の開催 年2回</p>
	<p>継続的支援事業（丸ごと相談員）</p> <p>① 地区センターへ丸ごと相談員配置の継及び他法人の丸ごと相談員との連携・協力</p> <p>② 令和6年度よりともり会との連携により宮守地区を受任</p> <p>② 相談支援事業</p> <p>ア ニーズの把握とマッチング</p> <p>イ 関係機関との連携</p> <p>ウ プラン作成</p> <p>③ 参加支援事業</p> <p>ア 多様な機関との連携</p> <p>イ 地域づくり団体の活動への協力及び参加</p> <p>④ 地域づくりに向けた支援、居場所を通じた孤立防止と、人と人が支え合うネットワークづくり</p>	通年	<p>① 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者実態把握 8地区合計800件 基本台帳の管理・運用</li> <li>・地域運営組織定例会 月1回</li> <li>・地区民児協定例会 月1回</li> <li>・各種会議への参加 随時</li> <li>・市支援会議での共有ケースの状況報告と掘り起こし</li> </ul> <p>② 参加支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等との会議への参加と情報共有 随時</li> </ul>

			<p>・行事の提案と各種イベントへの参加協力 年4回</p> <p>③ 地域づくりに向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支え合いマップづくりの手法を活用した地域ニーズの掘り起こし</li> <li>・ 小さな拠点での支え合い会議（小地域ケア会議）またはそれに伴う連絡会の開催</li> </ul>
生活困窮者自立促進支援事業	<p>(遠野市受託事業)</p> <p>① 生活困窮者自立促進支援事業 遠野健康福祉の里内に専任相談支援員4名を配置し、生活困窮者や困窮に陥る恐れのある人等を対象に包括的相談支援を実施する。</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 自立相談支援事業</li> <li>イ 家計改善支援事業</li> <li>ウ 就労準備支援事業</li> </ul> <p>③ 関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 生活困窮者食料支援事業</li> <li>イ 居場所・活躍支援 (ア) 無料職業紹介事業 (イ) 就労を見越した居場所支援 (ウ) ⑨ ボランティア受入先の開拓 未就労者の就労体験の場の開拓</li> <li>ウ フリースペースふらっと運営 (ア) ひきこもり当事者支援 (イ) ひきこもり家族会との関係性継続</li> </ul> <p>④ 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア IWATE・あんしんサポート事業</li> <li>イ フードバンク岩手との連携</li> <li>ウ ボランティアセンター、各地区丸ごと相談員との連携</li> <li>エ 市外社会福祉協議会</li> </ul> <p>⑤ 相談会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 関係機関との合同相談会企画開催</li> </ul>	通年	<p>【予算】 20,618千円</p> <p>事業目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 新規相談件数 60件</li> <li>イ 支援対象件数 2,000件</li> <li>ウ 自立プラン作成 35件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規プラン 12件</li> <li>・再プラン 12件</li> <li>・家計支援プラン 6件</li> <li>・就労準備支援プラン 5件</li> </ul> </li> <li>エ 終結目標件数 12件</li> </ul> <p>関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア フードドライブ協力団体 8件</li> <li>イ (ア) 無料職業紹介事業 職業マッチング 12件 (イ) 就労準備支援事業に係る居場所支援 5件 (ウ) ボランティア受入先の開拓及びボランティアマッチング 5件</li> <li>ウ (ア) フリースペース開所数 52回 (ピアサポーターによる開催 月1回) (イ) 関係団体会議等への参加 2回</li> </ul> <p>ア 暮らし・あんしん相談会開催 6回</p>

心配ごと相談所運営事業	① 心配ごと相談所運営(自主事業) 市民の困りごとや悩みを受け止め、問題解決に向け支援 ア 専任相談員の配置 2名 イ 弁護士による無料相談 遠野ひまわり基金法律事務所弁護士の協力 ウ 職員による相談受付 随時	通年          適宜	<b>【予算】</b> <u>220千円</u> 相談所の開設 ア 専任相談員対応 (ア) 遠野地区 月2回(第1・第3金曜日) (イ) 宮守地区 月1回(第3水曜日) イ 弁護士対応 (ア) 遠野地区 奇数月第3金曜日 (イ) 宮守地区 偶数月第3水曜日
資金貸付関係	① 低所得者、障がい者及び高齢者等に対する生活に必要な資金貸付と相談支援。コロナ特例貸付を含む債権管理と借受人へのフォローアップ支援 ア 生活福祉資金貸付事業 イ たすけあい更生資金貸付事業(自主事業) (ア) 貸付相談受付と償還支援 (イ) 自立生活相談窓口との連携 (ウ) 事務手続き (エ) 生活福祉資金貸付調査委員会 ・たすけあい更生資金貸付運営委員会開催	通年          適宜	生活福祉資金貸付事業 <b>【予算】</b> <u>8,640千円</u> ・相談受付 ・償還に係る支援 ・コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ  たすけあい更生資金貸付事業(自主) <b>【予算】</b> <u>300千円</u> ・相談受付 ・償還に係る支援
<b>(2) 権利擁護の推進</b> 権利擁護を推進するための相談・支援体制を強化します。			
<b>事業名</b>	<b>事業概要</b>	<b>時期等</b>	<b>達成目標</b>
釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営事業	① 釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営(受託事業) 判断能力が不十分なために意思決定が困難な方の権利を守るため、相談支援、権利擁護の啓蒙活動、支援のネットワーク構築等を行う ア 専任職員1名の配置 イ 成年後見制度周知活動 ウ 相談対応、成年後見制度利用申立書類作成支援 エ 市民後見人のフォローアップ、相談対応	通年	<b>【予算】</b> <u>5,771千円</u> ア 成年後見制度周知活動 (ア) ネットワーク会議 3回 (イ) 出前講座 3回 イ 相談対応 ウ 申立書類作成支援 エ 市民後見人の育成・フォローアップ研修 2回 オ 釜石・遠野地域成年後見ネットワーク会議(随時) カ 関係者等によるモニタリング会議の実施(随時)

成年後見制度法人後見事業	① 成年後見制度法人後見事業 (自主事業) 認知症や精神障害、知的障害など判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の権利を守るため、法人として成年後見人等を受任し財産管理や身上保護を行う ア 受任事務の実施 (ア) 面接、本人状況確認 (イ) 親族との情報共有 (ウ) 財産管理 (エ) 家庭裁判所との連携、定期報告	通年	【予算】 2,352 千円 ア 新規受任件数 5 件 イ 運営委員会の開催 ウ 他法人との連携
日常生活自立支援事業	① 日常生活自立支援事業 (釜石基幹社協への協力) 判断能力に不安を持つ方が安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的金銭管理などの支援について基幹社協と連携して取り組む	通年	ア 釜石基幹社協への協力 (ア) 相談対応、受付 (イ) 関係機関との情報共有 (ウ) 利用者支援の実施
障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業	① 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業 (県受託事業) 障がい者等から不利益な取り扱い相談を受け、地域で暮らす障がいのある人の権利擁護を推進する	随時	ア 事業の周知 (ア) 相談対応、受付

<b>2 新たな支え合い活動拠点づくりの推進</b> 支え合いの輪を広げ、誰もが役割を持ち活躍できる地域づくりを推進します。			
<b>(1) 担い手・ボランティア等の育成支援とプラットフォーム機能の強化</b> 小さな拠点で、地域の課題解決のため担い手やボランティア調整ができるプラットフォームとして機能できるよう、「丸ごと相談員」とボランティア活動センター職員が連携して取り組みます。また、ボランティアが活動しやすい環境づくりとして、より市民に身近なボランティア活動センターを整備します。			
<b>事業名</b>	<b>事業概要</b>	<b>時期等</b>	<b>達成目標</b>
ボランティア活動センター設置運営	① <b>新</b> ボランティア活動センター設置運営 「ちょボラ」を地域共生の拠点として遠野まちおこしセンター(あすもあ遠野)に設置し、地域住民が自らボランティア活動への参加を促進するための育成及び資源開発など仕組み作りを支援する。また、駅前という立地を生かした「若者の福祉参加」の取組の充実を図る。 ② インフォーマルな資源開発に向けた取組み		【予算】 7,509 千円 ア 体制強化 (ア) 住民が利用しやすいよう、ちょボラにボランティア活動センター本部機能を置く (イ) ニーズ把握のための連携(包括、サービス事業所、丸ごと相談員等) イ ボランティア活動センター連絡会議実施 月1回 ウ 活動の推進 (ア) キャンプハンディ体験

	<p>丸ごと相談員、包括支援センター等の関係機関と連携し、地域における助け合い・支え合い活動の担い手（ボランティア）を創出する支援を行う</p> <p>③ 福祉教育の推進 ア 福祉教育の充実 高齢、子ども、障がい等の様々な福祉教育メニューを実施する イ 福祉教育の実施</p>		<p>(イ) ボランティア育成講座 ⑦ 手話講座 年2回 ⑧ 生活支援ボランティア (ウ) ボランティア運営委員会 年1回 エ ボランティア連絡協議会運営支援 オ ボランティア団体・個人の活動支援</p>
災害対応	<p>① 災害を想定し、関係機関と協力し災害対応訓練を実施 ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練 イ 災害時、遠野市との「災害ボランティアセンター設置運営協定」に基づく対応 ウ 遠野市協働での災害時支援及び復旧復興推進に向けた包括協定に基づく連携</p> <p>③ 愛知県大口社協（災害協定締結社協）との連携</p>	<p>随時 随時</p>	<p>① 関係機関（行政、消防、専門 NPO 等）との連携</p> <p>③ 大口社協とのオンライン会議実施</p>
<p><b>(2) 小さな拠点における、新たな支え合い、住民福祉活動の推進</b> 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けることが出来るよう、小さな拠点において支え合いの輪を広げる取り組みを強化していきます。</p>			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
ふれあい・いきいきサロン支援助成事業（市補助・共同募金配分事業）	<p>① ふれあいいきいきサロン支援助成事業 高齢者の閉じこもり防止、介護予防、交流の場として各地域で開催するサロンを支援する</p>	随時	<p>【予算】 <u>2,400 千円</u> ア 活動費助成 イ 各種助成金案内（随時） ウ 新規立ち上げ支援 エ 運動指導員派遣（随時） オ サロン交流会（年1回） カ 送迎支援（支部単位）</p> <p>【送迎支援予算】 550 千円</p>
生きがい活動支援通所事業（市受託事業）	<p>① 生きがい活動支援通所事業（通称：サテライト事業） 高齢者の介護予防や健康づくり、生きがい活動の場として専任職員を配置して実施</p>	通年	<p>【予算】 <u>25,120 千円</u> ・実施場所 市内コミュニティセンター18ヶ所 地区センター3ヶ所</p>
高齢者等の生活支援事業（市受託事業・自主事業）	<p>① 配食サービス事業 ア 「食」の自立支援（市受託） イ 在宅支援食事サービス事業（自主）</p> <p>② 福祉有償運送事業 ア 外出支援サービス（市受託） イ 移送サービス（自主）</p>	通年	<p>【予算】 <u>10,147 千円</u> 【予算】 <u>1,074 千円</u></p> <p>【予算】 <u>4,439 千円</u> 【予算】 <u>2,445 千円</u></p>

家族介護者支援対策事業	① 家族介護者教室開催事業（市受託） ② 家族介護者交流事業（市受託）	通年	ア 各町単位で開催を目指す 【予算】 <u>150千円</u> イ 日帰り型 40名 【予算】 <u>585千円</u>	
<p><b>(3) 高齢者・障がい者・児童、ひきこもり、依存症など領域を問わない拠点（居場所）づくりの推進</b></p> <p>年齢や性別、心身の障がいの有無に関らず、お互いの個性や尊厳を認め合い、誰もが地域で孤立することなく、何らかの役割を持って共に生活していく地域社会をめざします。</p>				
事業名	事業概要	時期等	達成目標	
ちよボラ	遠野まちおこしセンター指定管理事業	① ②(新)遠野まちおこしセンター（あすもあ遠野）の管理運営 ア 施設の貸出	通年 【予算】 <u>9,673千円</u> ①管理運営 ・会議室の予約及び使用料の徴収	
	市民交流サロン「ちょボラ」運営	① 市民交流サロン「ちょボラ」運営 市民誰もが気軽に立ち寄り交流できる地域共生の拠点として運営 ア 展示コーナー イ 休憩場所	通年 ・ボランティア、福祉団体、障がい者、地域住民、若者等の属性にとらわれず、様々な方が利用	
	遠野市地域活動支援センター「カムカム」(Ⅲ型)の設置運営（遠野市補助事業）	① 遠野市地域活動支援センター「カムカム」の運営 障がい者総合支援法に基づき、障がいのある人を対象として、創作的活動、生産活動、社会との交流促進の機会を提供し支援する  【処遇目標】 ① お便りの発行や電話相談等により、登録者の利用促進に努める。 ② 様々なプログラムを用意し、利用者の交流や学びに寄与する。	通年 【予算】 <u>9,521千円</u> ア 利用登録者 30名 イ 開所日（火～日） ウ プログラム活動の実施 （ア）学びのプログラム （イ）体験のプログラム （ウ）交流のプログラム （エ）就労に向けたプログラム （オ）その他 エ 地域との交流促進	
	ボランティア活動センター設置運営	2-(1) 【再掲】 「ボランティア活動センター設置運営」		
	在宅障がい者交流事業（自主事業）	① 在宅障がい者交流事業 障がい当事者や家族会、関係機関団体等と協力し、行事を実施	随時	【予算】 <u>300千円</u> ア 意見交換会や勉強会 イ はたちを祝う会 ウ ふれあい乗馬 6回/年 （5～9、11月） エ バスハイク 1回/年

<b>3 連携や協働の強化</b> 地域生活課題の解決に向け、住民と協働して取り組みを進めると共に、あらゆる分野と横断的な連携を推進します。			
<b>(1) 暮らしを支えるあらゆる分野と横断的な連携を推進</b> 地域生活課題の解決に向け、小さな拠点において住民と協働して取り組みを進めると共に、市内全域において、福祉領域に限らず生活に関わるあらゆる分野と横断的な連携を推進していきます。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
民生児童委員活動との連携	① 民生委員と連携を強化し地域福祉を推進		【予算】 <u>85千円</u> ア 会長・副会長連絡会への参加(事務局職員)月1回 イ 地区民協定例会への参加(地区担当職員)月1回 ウ 広域社協事業(研修会等)の実施 年1回
ふれあい農園事業	農園作業、ほうきづくりによる交流の場と趣味活動の場の創出 ① ふれあい農園の活用 ア 地域団体や関係機関との連携により農園作業の実施 ② 「マイほうきづくり講座」の実施 ア 各地区でのほうき草栽培と「マイほうき作り講座」の実施	通年	【予算】 <u>99千円</u> ア 希望者への種配布によるほうき草栽培 イ ふれあい農園の活用 ウ フリースペースや地活利用者等の参加
日常生活用具貸与事業	生活用具を貸与することにより日常生活の便宜を図る ① 車イス 疾病や障がいにより歩行困難な方に対し、10日以内の貸出 ② 暖房器具 困窮等の理由により、冬季間の生活が困難な方への緊急支援として貸出 ③ その他 要援護者や困窮者支援として必要な物品の検討、整備	通年	【予算】 <u>57千円</u> ア 貸与物品の点検、整備 ・車イス 10台 ・暖房器具(ストーブ等) ・必要に応じて追加 イ 要援護者や困窮者支援に必要な物品の拡充に向けた取り組み
<b>(2) 災害時要援護者支援のため、平時から住民、行政、関係機関が連携し住民支え合いを強化</b> 令和2年度に実施した「高齢者等見守り体制構築事業(調査)」を基礎データとして、地域で平時も災害時も支え合えるよう取り組みを強化します。			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
地域福祉推進基礎データ管理運営業務	① 災害時要援護者の調査及び個別計画の作成 障がい者、要介護者、高齢者等に対する訪問調査を行い、災害時の避難行動について計画を作成する ② 個別計画の管理 各地区センター(福祉センター)毎に個別計画を保管し、閲覧の調整及び管理を行う	通年	【予算】 ア 個別計画の作成、加除、更新 イ 個別計画の保管 ウ 個別計画閲覧の調整、閲覧簿の整備・管理

災害時要援護者支援	① 住民支え合いマップを活用した地域資源と課題の把握、課題解決に向けた支え合い活動の見える化	通年	① 丸ごと相談員を中心に各地域で実施
	② 指定福祉避難所の開設、運営 ア 防災備品の計画的な備蓄 イ 開設時の職員配置 (事業所間連携)	随時	② 指定福祉施設4ヶ所 (ア) ふれあい薬研渕 (イ) ふれあい上郷 (ウ) ふれあい小友 (エ) ふれあい附馬牛

#### 4 広報・啓発活動

住民による支え合い活動が活発に行われるように、役立つ情報の発信や、地域の取組みなどを積極的に紹介します。

##### (1) 福祉サービスや地域福祉活動の情報発信を充実

事業名	事業概要	時期等	達成目標
情報発信の充実	① 広報委員会の運営 地区相談員や介護保険事業所等との連携を図る。また、必要に応じて法人間連携を図ることにより遠野の福祉促進の一手になる。 ② 福祉だよりの発行 ③ ホームページの更新 ④ 遠野TVの活用 ⑤ (新) SNS活用の検討 ⑥ 地域の情報をより身近に発信できるよう、ホームページのリニューアル。	年6回  年6回 随時 随時	【予算】 <u>2,763千円</u> ア 福祉だよりの発行 年6回、奇数月第3木曜日 イ ホームページの更新 年48回(月4回) ウ 遠野TVの活用 (随時)

##### (2) 住民福祉活動や社協活動の循環等、また社協会費や共同募金等の循環の見える化を促進

「自分のまちをよくするしくみ」を進めるため、寄附や募金を積極的に呼びかけ、地域福祉の財源確保に努めていきます。

事業名	事業概要	時期等	達成目標
活動と財源の循環、見える化促進	① 地域福祉推進のための財源として募金寄附の見える化、啓発活動	通年	ア 社協・共募事業の広報掲載によるPR イ 共募配分金による一般公募枠の事業実績 <u>700千円</u>

## 5 在宅福祉（介護保険事業）

(1) 介護保険事業の活動基盤等強化の取組み			
事業名	事業概要	時期等	達成目標
持続可能な適正運営	① 介護保険システムの有効活用（全事業所） 生産性向上、業務の効率化 ・タブレット端末の追加導入（訪問介護） ・事業所間での情報共有 ・統計管理（データ化の業簡素化） ② 遠野市公の施設指定管理運営（期間：令和5年4月～令和8年3月） ・ふれあいホーム4事業所 ・指定管理料による施設の維持、管理 ③ ①サービス向上のためのアンケート調査実施（介護保険事業、障害福祉事業） ④ 居宅介護事業所 ア ①介護予防支援の指定の取得 イ ともり会職員出向による相談支援機能強化継続、相談対応環境の改善（宮守） ⑤ ヘルパーステーション薬研淵 ・訪問入浴介護の事業継続の模索 ⑥ 訪問看護ステーションとおの ・医療機関との連携強化による、医療保険対象者の拡充 ⑦ ①介護報酬・障害福祉サービス・診療報酬改定の対応 ・新たな加算取得に向けた取組み ・科学的介護加算（LIFE加算）の算定検討 ・①身体拘束適正化・高齢者虐待防止のための指針に基づく事業運営	通年	・虐待防止委員会開催による取組みの報告及び評価の実施 ・（新採用職員も必須）研修への参加【年1回以上】
(2) 介護職員等の処遇改善			
介護職員の処遇改善	① 職員の処遇改善を目指した加算及び補助金の取得 ・①介護職員等処遇改善加算（一本化）の対応	通年	加算総額 39,618 千円
(3) 事業が継続的に行われるための取組み、福祉人材に対する指導力強化への取組み			
感染対策の継続強化	① 感染対策指針及び事業継続計画（感染BCP）の実践 ② BCPに基づく研修、訓練（シュミレーション）の実施	通年	

災害事業継続に向けた取り組みの強化（災害BCP）	① 災害BCPに基づく研修の実施、訓練（シュミレーション）の実施 ア 災害時の職員行動指針の定着 イ 非常災害対策（消防計画、洪水避難計画など）の訓練の実施	通年	
インターンシップ等の受入れ推進	① 介護実習指導者講習の受講 ア 新カリキュラムを取得し、指導力を強化 イ 各種学校への情報提供、実習生の誘致 ② 若い世代（高校生）に目を向けた取り組み ア ①有償ボランティアの募集及び導入	通年	
<b>（４）地域包括ケアシステムの推進</b>			
認知症への対応力向上に向けた取り組み	① 職員の知識、技術向上 認知症介護実践者研修の受講 ② 認知症の人と家族の会開催事業、認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業、認知症サポーター養成事業への協力	通年	
地域共生社会実現に向けた取り組み	① 通いの場における専門職による技術支援（作業療法士等）の継続 ※「地域介護予防活動支援事業におけるリハビリテーション専門職による技術支援業務」 ② 訪問介護、訪問入浴、通所介護事業所での障害福祉サービスの提供継続	25回/年 通年	
介護予防・日常生活支援総合事業	① ①訪問型サービスCへの参入の検討 ア リハビリテーション専門職による自宅訪問で短期集中的な支援を实践		

## 6 介護保険事業所関係

（１）居宅介護支援事業所		
事業名	経営目標	達成目標
居宅介護支援事業所とおの	<b>【運営目標】</b> ① 包括支援センター等と月1回ケース検討会を実施し、ケースの見立てや課題解決を検討をする。 ② 地域の事業所等と協同して、研修会等を企画し、地域のケアマネジメント力の向上に努める。 ③ 個々の面談を懇切丁寧に対応する。 ④ 医療機関と連携し、適切な入退院の調整を図る世帯の心配事に合わせて、必要な関係機関と連携を図り、課題解決に努める。	年間目標額： 32,580千円 介護保険 31,080千円 総合/予防 1,170千円 その他 330千円  給付件数（月平均）： 介護保険 1,884件 介護予防 15件 総合事業 10件

<p>居宅介護支援 事業所上郷</p>	<p><b>【運営目標】</b></p> <p>① 適正な加算取得による安定した経営を目指す。</p> <p>② 事例検討会の機会を活用し、新規ケースの発掘に努める。</p> <p>③ ご利用者及びご家族、サービス事業所との面談や電話の際は、接遇を意識しての対応を行う。</p> <p>④ ご利用者及びそのご家族の支援を行う中から、地域課題の発見と必要とされるサービスを検討。</p> <p>⑤ 二地区の丸ごと相談員と事例検討会を通じ、地域との連携を深める。</p>	<p>年間目標額： 22,330 千円</p> <p>介護保険 19,821 千円 総合/予防 2,281 千円 その他 228 千円</p> <p>給付件数（月平均）： 介護保険 1,112 件 介護予防 19 件 総合事業 22 件</p>
<p>居宅介護支援 事業所宮守</p>	<p><b>【運営目標】</b></p> <p>① 法人連携による体制強化の継続を図り、特定事業所加算Ⅱの体制での質の高いサービス提供。</p> <p>② 医療機関・福祉施設等、関係機関の連携を密にし在宅生活が困らないよう支援する。</p> <p>③ まるごと相談員と連携を取り、宮守地区の福祉の相談窓口の周知・支援を行う。</p> <p>④ わかりやすい制度・わかりやすいサービスの説明、わかりやすいケアプランの作成。</p> <p>⑤ 事例検討を重ね、事業所全体での複雑化した世帯への支援。</p>	<p>年間目標額： 28,674 千円</p> <p>介護保険 27,006 千円 総合/予防 1,476 千円 その他 192 千円</p> <p>給付件数（月平均）： 介護保険 1,518 件 介護予防 10 件 総合事業 18 件</p>
<p><b>(2) 訪問介護事業所</b></p>		
<p>ヘルパーステーション薬研淵</p>	<p>《訪問介護》</p> <p><b>【運営目標】</b></p> <p>① 回転率を重視したご利用者の柔軟な受け入れ。</p> <p>② ご利用者の状態変化に伴う情報提供を迅速に行い、必要な支援に努める。</p> <p>③ 温かみのある対応と丁寧なサービス提供、傾聴に努める。</p> <p>《訪問入浴》</p> <p><b>【運営目標】</b></p> <p>① 新規利用の受け入れを積極的に行う。</p> <p>② チームで協力し、ご利用者・ご家族の負担なく、喜んでいただける入浴に取り組む。</p> <p>③ 感染対策に留意し予防に努める。</p>	<p>《訪問介護》</p> <p>年間目標額： 62,512 円</p> <p>介護保険 51,536 千円 総合事業 6,108 千円 その他 332 千円 障害福祉 4,536 千円</p> <p>延利用人数（年）： 介護保険 10,975 人 総合事業 2,100 人 障害福祉 1,608 人</p> <p>《訪問入浴》</p> <p>年間目標額： 7,263 千円</p> <p>介護保険 6,063 千円 障害福祉 1,200 千円</p> <p>延利用人数（年）： 介護保険 432 人 障害福祉 96 人</p>

<b>(3) 訪問看護事業所</b>		
訪問看護ステーションとおの	<b>【運営目標】</b> ① 積極的に新規ご利用者を受け入れ柔軟なサービス提供に努める。 ② 医師、医療相談室、ケアマネ、各サービス提供事業所、他の関係機関との情報共有・連携に努め、状態変化時には迅速に対応できる。 ③ サービス内容の均一化を図り、感染予防に努め、安心・安全なケアを提供する。 ④ ご利用者・ご家族が安心して在宅で過ごすことができるよう、わかりやすい丁寧な助言・ケアをおこなう。	年間目標額(看護+リハビリ): 36,231 千円  介護保険 22,217 千円 介護予防 5,956 千円 その他 431 千円 医療保険 7,627 千円  延利用人数(年): (看護) 介護保険 1,354 人 介護予防 168 人 医療保険 325 人  延利用人数(年): (リハビリ) 介護保険 1,707 人 介護予防 857 人 医療保険 330 人
<b>(4) 通所介護事業所</b>		
ふれあいホーム薬研淵	<b>【運営目標】</b> ① ご利用者の希望に沿ったサービスの実施。 ② 法人内の協力により個別機能訓練の強化。 ③ 安全に入浴し身体保清に努める。 ④ レク活動を通じ、刺激のある生活を送る。 ⑤ ご家族以外の方と会話する機会を持つ。	年間目標額: 90,579 千円 介護保険 79,291 千円 総合事業 7,750 千円 その他 2,004 千円 自立支援 1,534 千円  延利用人数(年): 介護保険 8,060 人 総合事業 1,560 人 自立支援 208 人
ふれあいホーム小友	<b>【運営目標】</b> ① ご利用者の柔軟な受け入れ。 ② 地域、関係機関との密な連携。 ③ 経営安定に向けた効率良い稼働への取り組み。 ④ ご利用者の個性を尊重し、丁寧な言葉使いの徹底。 ⑤ ご利用者が自ら選択できるレク活動の実践。	年間目標額: 56,545 千円 介護保険 48,232 千円 総合事業 5,675 千円 その他 2,064 千円 自立支援 574 千円  延利用人数(年): 介護保険 5,232 人 総合事業 1,176 人 自立支援 84 人

ふれあいホーム附馬牛	<b>【運営目標】</b> ① 新規利用者を積極的に受け入れ、臨時利用、利用回数等柔軟な対応をする。 ② 民協定例会や地域サロンへの参加を積極的に行い、地域に密着した運営を目指す。 ③ ご利用者一人ひとりを尊重し、懇切丁寧なサービスの提供をする。 ④ 住民が気軽に立ち寄れる環境作りやイベントの開催をする。	年間目標額： 35,565 千円 介護保険 32,128 千円 総合事業 1,706 千円 その他 1,731 千円  延利用人数（年）： 介護保険 3,179 人 総合事業 384 人
ふれあいホーム上郷	<b>【運営目標】</b> ① 関係機関との連携を密に行い、積極的に新規利用者の受け入れを行う。 ② 稼働率を上げられるように追加利用・臨時利用の調整を行う。 ③ 経費節減の意識を高め、節電節水、冷暖房の適宜切り替えを行う。 ④ 接遇マナーを守り、ご利用者への丁寧な声掛けと対応を行う。	年間目標額： 67,392 千円 介護保険 57,128 千円 総合事業 7,412 千円 その他 2,852 千円  延利用人数（年）： 介護保険 6,330 人 総合事業 1,470 人
<b>(5) 短期入所生活介護事業所</b>		
ショートステイ上郷	<b>【運営目標】</b> ① 新規利用、緊急利用など、空き状況の情報提供により受入体制の強化に努める。 ② 安定した稼働率のため、定期利用者の確保に努める。 ③ ご利用者の健康維持を図るため、迅速、適切な対応に努める。 ④ 接遇マナーを意識し、丁寧な言葉づかいで対応する。	年間目標額： 88,195 千円 介護保険 66,088 千円 予防事業 741 千円 その他 21,366 千円  延利用人数（年）： 介護保険 6,385 人 介護予防 110 人  1日平均： 17.8 人 稼働率(月平均)：90.0%

## IV 参考

### 令和6年度共同募金委員会関係事業計画（案）

#### 1 赤い羽根共同募金運動

- (1) 令和5年度の全体目標額は6,927千円。実績は6,601千円となり、目標達成率は95.3%となりました。
- (2) 令和6年度年度の目標額は、令和5年度の実績（6,601千円）の1%増とし6,668千円とします。また、各支部の実績に応じて令和7年度各支部に還元することとします。

#### 2 歳末たすけあい募金運動

- (1) 令和5年度の全体目標額は2,597千円、実績は2,601千円となり、目標達成率100.2%となりました。
- (2) 令和5年度の激励金配分は、社協支部及び民生児童委員の協力により該当世帯265件に1,340千円が配分されました。
- (3) 令和6年度の目標額は、令和5年度の実績（2,601千円）の1%増とし2,628千円とします。

#### 3 令和6年度共同募金配分金事業（令和5年度共同募金実績に基づく）

岩手県共同募金会が定める「赤い羽根アクションプランいわて」の基本方針の安全で安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組む住民を支援するとともに、その活動資金は住民の寄付により集まるという「助成と寄付の循環」の仕組みを目指します。

従来の社協の地域福祉事業と各団体への助成事業を実施します。

#### 4 共同募金配分金事業内訳

区 分		内 容		
共同募金配分金				
内 訳	配分金 事業	事 業 名	予算額(千円)	
			事業総額	うち配分 金
		福祉バザー開催事業	200	200
		心配ごと相談運営事業	220	220
		広報・調査活動事業	717	717
		一人暮らし高齢者交流事業(交流会・友愛活動)	650	650
		ふれあいいきいきサロン事業	2,400	1,460
		ふれあいホーム利用者送迎支援事業	500	500
		障がい者等福祉団体運営	708	708
		(うち障がい者福祉団体助成等)	(216)	(216)
		(うち民生児童委員活動助成)	(442)	(442)
(わらすっこまつり助成事業)	(50)	(50)		
支部社協活動助成事業	879	879		
一般公募団体助成	700	700		
	小 計	6,974	6,034	
		事業総額	うち募金	
募金事業	歳末たすけあい配分金事業(激励金)	1,600	1,600	
	合 計	8,574	7,634	